

第 1 章 業務概要

章 内 目 次

1.1 業務目的.....	1-1
1.2 業務内容.....	1-1
1.3 工期.....	1-1
1.4 実施工程.....	1-2
1.5 業務内容.....	1-3
1.5.1 計画準備.....	1-3
1.5.2 システム導入支援.....	1-3
1.5.3 課題の整理および改善方針の検討.....	1-3
1.5.4 工事車両需要調整の運用支援.....	1-3
1.5.5 マスタ管理.....	1-3
1.5.6 システム導入検討.....	1-4
1.5.7 システム改良設計.....	1-4
1.5.8 ETC2.0 プローブデータ活用検討.....	1-4
1.5.9 協議用資料作成.....	1-4
1.5.10 報告書作成.....	1-4
1.6 業務フロー.....	1-5

1. 業務概要

1.1 業務目的

本業務は、東京外かく環状道路（関越～東名）における工事に際し、過年度業務においてとりまとめられた『交通マネジメントシステム（工事関係車両を一元的に管理するためのマネジメントシステム）』について、システム導入支援を行うとともに、運用時の問題点等を整理した上で、システムの改善方針の検討を行うものである。

また、中央 JCT に対するシステム導入検討、運用改善に資するシステム改良設計および ETC2.0 プローブデータの活用に関する検討を行う。さらに、必要に応じて関係機関との協議用資料を作成するものとする。

1.2 業務内容

本業務の構成は以下のとおりである。

- ①計画準備
- ②システム導入支援
- ③課題の整理および改善方針の検討
- ④工事車両需要調整の運用支援
- ⑤マスタ管理
- ⑥システム導入検討
- ⑦システム改良設計
- ⑧ETC2.0 プローブデータ活用検討
- ⑨協議用資料作成
- ⑩報告書作成

1.3 工期

平成 31 年 4 月 23 日～令和 2 年 4 月 18 日

1.4 実施工程

表 1-1 工程計画

検討項目	平成31年												令和2年				備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	備考			
【参考】システム運用 スケジュール(想定)	●-----●												●-----●				上段:東名JCT 中段:大泉JCT 下段:中央JCT
1.計画準備	●	●												業務計画書			
2.システム導入支援	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●:一時中止期間			
3.課題の整理および改善方針の検討		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
4.工事車両需要調整の運用支援					●	●	●	●	●	●	●	●	●				
5.マスタ管理	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
6.システム導入検討						●	●	●	●	●	●	●	●				
7.システム改良設計		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
8.ETC2.0プローブデータ活用検討										●	●	●	●				
9.協議用資料作成		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
10.報告書作成										●	●	●	●	報告書案 納品			
打合せ(5回)		①		②		③				④			⑤	中間時は必要に応じて実施			
照査(弊社独自)		○				○							○	ISO9001に準拠			

※一時中止期間：令和2年3月2日～令和2年3月19日

1.5 業務内容

1.5.1 計画準備

本業務の目的・主旨を把握したうえで、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成し調査職員に提出するものとする。

1.5.2 システム導入支援

交通マネジメントシステムを新規に導入する事業者及び工事担当者に対し、導入に関する情報提供及び導入時の問合せ対応を行う。なお、中央 JCT は対象外とする。

1.5.3 課題の整理および改善方針の検討

(1) 運用実態・改善要望の整理

交通マネジメントシステムを利用する工事担当者に対し、ヒアリングを行い、運用実態・改善要望等を整理する。

(2) 改善方針の検討

1.5.2、1.5.3(1) および 1.5.4 の結果に基づき、交通マネジメントシステムにおける課題を整理し、運用面及びシステム機能面の改善方針の検討を行う。

1.5.4 工事車両需要調整の運用支援

JV 間の工事車両需要調整の支援を行うために、過年度検討した工事車両需要調整方法を、現在の工事状況等に合わせて更新する。また、各 JCT での運用を踏まえ、過年度業務で作成された需要調整ツールの改良を行う。

1.5.5 マスタ管理

(1) 工事情報管理

交通マネジメントシステムを新規に導入する工事担当者に対し、システムへの工事情報の登録を行い、システムより発行される ID 等を工事担当者へ通知する。

また、工事担当者より提供される GPS トランシーバデータ提携サービスへの申込情報をもとに、データ連携対象工事の追加を行う。なお、中央 JCT は対象外とする。

(2) 拠点情報管理

仮置場、受入先、待機場所等の追加や変更及び廃止等に対し、システムの新規登録・修正を行う。また、必要に応じ、拠点ごとに登録された GPS の検知範囲の調整を行う。

(3) ユーザ管理

交通マネジメントシステムを新規に導入する事業者及び工事担当者があった場合は、システムサーバへの新規ユーザの登録を行い、システムより発行される ID 等

を事業者及び工事担当者へ通知する。また、ユーザ情報の変更や、利用を停止するユーザがある場合は、ユーザ情報の削除を行う。なお、中央 JCT は対象外とする。

1.5.6 システム導入検討

最新の工事状況を踏まえ、中央 JCT に交通マネジメントシステムを導入することへの必要性、導入手法の検討を行う。

1.5.7 システム改良設計

大泉 JCT へ交通マネジメントシステムを導入するにあたり、必要なシステム改良設計を行う。

1.5.8 ETC2.0 プローブデータ活用検討

ETC2.0 プローブデータを交通マネジメントシステムに活用する事に対する検討を行う。

1.5.9 協議用資料作成

関係機関協議用資料を作成する。

1.5.10 報告書作成

報告書作成は、検討内容のとりまとめを行うものである。

1.6 業務フロー

下記のフローに沿って業務を実施する。

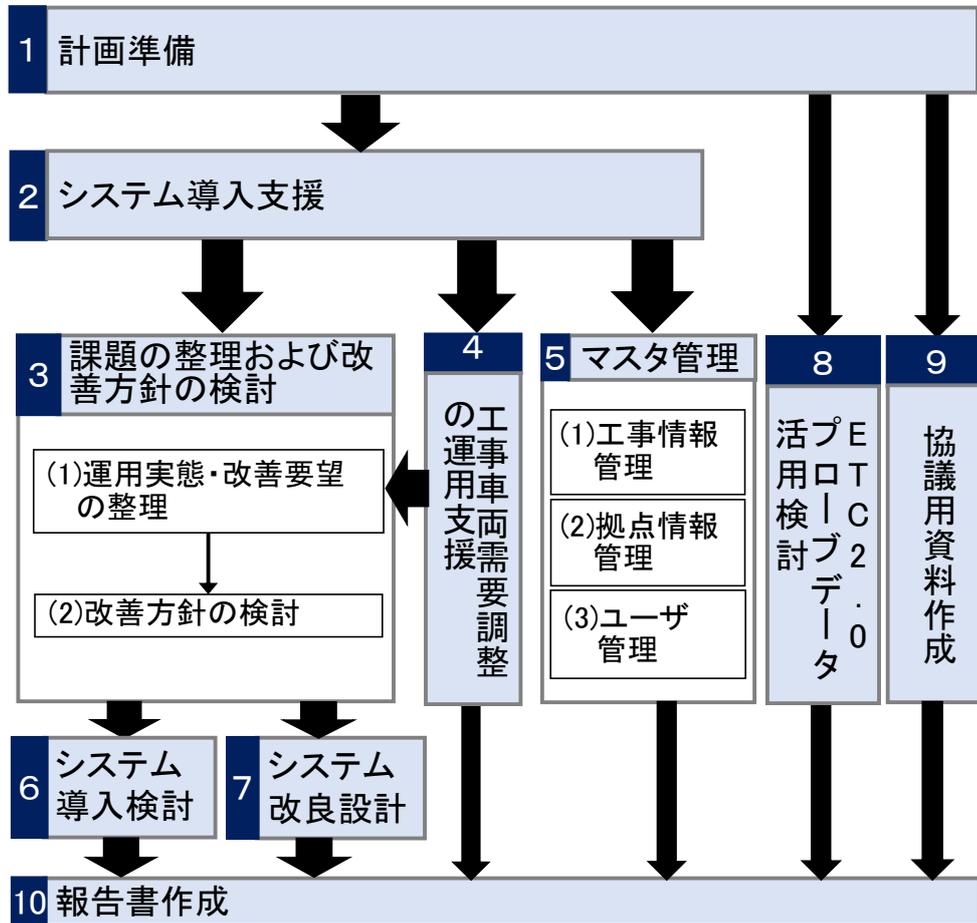


図 1-1 業務フロー